
浜松市立上島小学校

むくろじ



メールアドレス：kamijima-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

ホームページアドレス：http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/kamijima-e/

令和5年6月26日

第4号

いじめのない温かい学校づくり

校長 山本 千興

今月12日は、「命について考える日」でした。この日、全学級、道徳や学級活動で、自分の命や友達の命の大切さを考えたり、良好な人間関係づくりについて見直したりしました。私も朝会の中で、「いじめ」について子供たちに語り掛けました。以下が、その内容です。

みなさんは、「いじめ」について先生や友達と話し合ったことがあるでしょう。また、みなさんは、「いじめは、決して許されない」ことを知っています。「いじめ対策推進法」という法律の中にも、「いじめはしてはいけない」と書かれています。

「いじめ」とは何ですか。相手の心や体を傷つけることが「いじめ」です。相手が嫌がっていることを知らなくてやってしまったとしても、相手が傷ついていたらそれは「いじめ」です。「いじめ」は、そのときにつらいだけでなく、その後もその人にマイナスの影響を与えます。いじめられた人＝被害者は、子供のころにいじめられたことで、将来もずっと元気がなくなってしまうことがあります。また、いじめられた人＝被害者だけではなく、いじめた人＝加害者も、人と仲よくできなかつたり、学校や仕事でうまくいかなかつたりすることがあります。こうしたことが、いろいろな研究で分かっています。

それでは、「いじめ」を起こさないために、何が大切でしょうか。私が特に大切だと考えることを、二つ紹介します。

一つは、「**相手の立場に立って考える**」ことです。自分と相手は違います。たとえ、自分は平気でも、相手は平気ではないこともあります。

もう一つは、「**相手の気持ちを想像する**」ことです。相手は今、どんな気持ちをしているかなと、相手のつらさを考えたり想像したりしてほしいです。

相手の心や体を傷つけないために、どうすることが大切か、みなさんも考えてください。私は、ずっと「**温かい学級や学年、学校をつくろう**」とみなさんに呼び掛けています。そして、それを実現しようと、みなさんは頑張っています。先日、児童会スローガンが発表されました。「**#HAPPY～一人一人が主役～**」このスローガンのもと、これからいろいろな委員会で、い



ろいろな取組が行われていくはずですが、それらも、上島小に「いじめ」を生まない、温かい学校づくりにつながっていくと楽しみにしています。みなさんのますますの活躍を期待しています。

共に生きるために大切なこと、それは対話

「命について考える日」にあわせて、4～6年生を対象に、「はごろも『夢』講演会」（主催：はごろも教育研究奨励会）を企画しました。講師は玉城ちはるさん、演題は「命の参観日～共に生きる～」。アジア地域の留学生を支援する活動、ホストマザーの経験から学んだことを言葉や歌、ワークショップを通して、子供たちに伝えてくれました。

玉城さんは、「自分の考えや価値観を、相手に押し付けない。みんな、自分とは違う。違うからと言って、相手を否定しない。」「違う人と、どのように共に生きるかを考えることが必要。そのために、大切にすべきことは対話。あなたの思いや考えを言葉にして伝えて。それがお互いを理解することにつながっていく。」…こんなメッセージを届けてくれました。

また、玉城さんがホストマザー時代に考えた「やさしさ貯金ゲーム」を体験しました。直してほしいところといいところをセットにして、「『ありがとう（感謝）、ごめんね（反省）、大好きだよ（愛情）。』と、相手に伝える。けんかをしたとき、直してほしいところだけを言われれば、相手は嫌な気持ちになる。だから、いいところとセットにして、直してほしいところを相手に提案する。そうすると

自然と仲直りができる。」

これからやってみようという顔がいっぱいありました。

さらに、シンガーソングライターである玉城さんは、たくさんの歌を歌ってくださいました。手話を交えながら…透き通る歌声は、子供たちの心にしみ込んでいきました。

これからの時代を生きていく

子供たちに、大切なことを教えてくれた講演会でした。また、温かい学校づくりを進める本校を応援してくれる講演会になりました。

♪ヒトリゴト♪ 作詞：玉城ちはる
怒っているのは 嫌いだからじゃない
閉ざしている君が もどかしいから
黙っていたのは 意地悪なんじゃない
君の言葉 待っているんだ

信じていいよ いつもここにいるからね
帰っておいで 二人でね 語り合おう

手をつなごう よく見せて
こわれかけた心ごと
大丈夫 何度でも
君を愛してみせるから



「命について考える日」～全校で道徳・学活の授業を行いました～

浜松市では、6月12日を「命について考える日」としています。

全校朝会では、校長が「いじめについて考えてみましょう。」という話をしました。その中で、「いじめとは、相手の心や体をきずつけること」であり「いじめによって、未来も変えてしまうことになる。」と子供たちに語りかけました。

本年度は、4・5・6年生に向けて、玉城ちはるさんをお招きし、「命の参観日～共に生きる～」というテーマで講話をいただきました。講話の中で、「だれも悪くないことは世の中にたくさんある。これから生きていく中で①対話をする②自ら動き出す③相談をすることを大切にして過ごしてほしいです。」ということ、体験や歌を交えながら伝えてくださいました。とても心が温かくなる時間となりました。

各学級でも、道徳や学活の授業で「命の尊さ」や「人とのよりよい関係」を考える授業を行いました。道徳では、読み物教材を使って、より良い友達関係を作ることの大切さなどを考えました。また、学級活動では、いじめを防ぐためにできることなどについて話し合いました。自分も友達も大切にしていこうという思いを高めることができたと思います。

学校では、子供たちがよりよい関わり合いの中で、みんなが楽しく、心地よく過ごすことができる温かい学級・学年・学校を目指していきます。是非、御家庭でも人とのよりよい関わりについて子供たちと話してみてください。



(道徳担当 鈴木 あゆみ)



縦割り活動(縦割り遊び・縦割り清掃)

上島小学校では、各学年の児童が2～4人ずつ集まり、1つの縦割りグループを作って、様々な活動に取り組んでいます。そのうちの 하나가「縦割り遊び」です。6年生は最上級生として、縦割りリーダーを中心に教室や体育館でできる簡単な遊びを考え、下級生は上級生に協力しながらルールを守って楽しく活動を行います。年間3回の縦割り遊びを通して、リーダーとしての自覚や、思いやりの心、上級生に対するあこがれや目標などを育んでいきたいと思ひます。

もう一つが、「縦割り清掃」です。毎週水曜日、金曜日の週2日、「黙って掃除を始めましょう。」6年生のリーダーの挨拶で、掃除が始まります。1年生に優しくほうきの使い方を教える高学年、上級生の助言を受けて黙って掃除に励む低学年の姿が見られます。こうした異年齢集団の活動を通して、上島小全体で団結力を高めていきたいと思ひます。

(縦割り活動担当 吉田・植松)

